

# コミュニティ開発支援無償

Grant Aid for Community Empowerment

外務省 無償資金・技術協力課  
平成19年 3月 1日

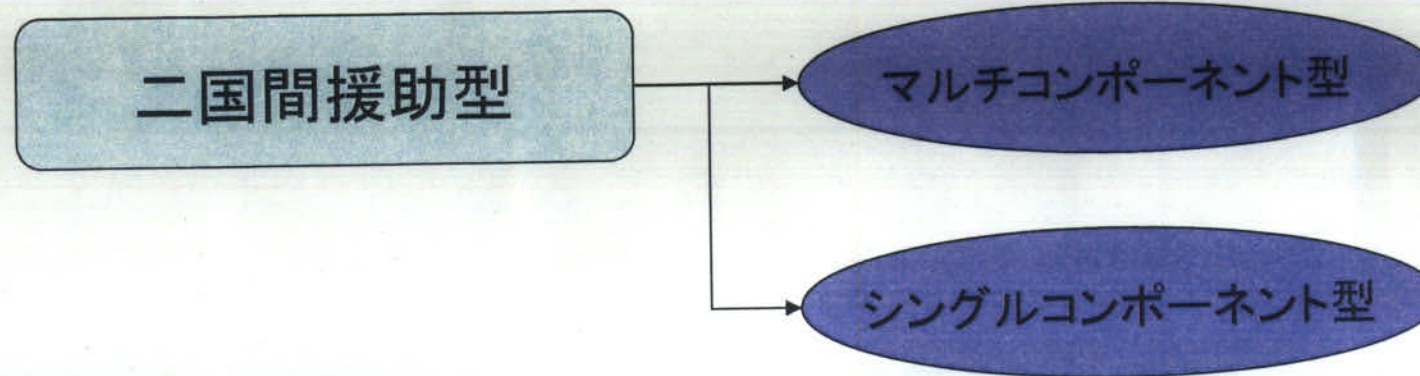


# 1. 「コミ開」のねらい

---

- 貧困、飢餓、疫病等、人命や安全な生活への脅威に直面するコミュニティの総合的能力開発の支援を目的とする。
  - 複数のコンポーネント(学校、道路、給水等)からのなる支援を一つのプログラムとして一体的に実施することによる相互の有機的連携による手続きの効率化を図り、単一分野の支援についても、現地仕様・設計に基づく施工、現地業者・資機材の積極的活用を図るほか、競争性の向上等を通じて、一般プロジェクト無償と比して大幅なコスト縮減と効率化を目指す。
  - 資金を一括拠出する調達代理方式を採用し、事業目的の変更を伴わない範囲で事業量の拡大が可能となる。
-

# —「コミ開」の類型図—



## 国際機関経由型

- ・二国間では実施が困難な国・地域を対象（大使館やJICA事務所のアクセス困難など）
- ・国際機関経由で高い効果が得られる分野を対象



## 2. 概要

---

- (1) 世銀ガイドライン I 及び II の国が対象。
- (2) 1件あたりの供与金額を、3－10億円を目処とする。
- (3) 現地仕様・設計に基づく施工。現地業者、資機材の積極活用をはかる。

－以下、二国間型の場合－

- (4) 調達代理方式(資金の一括拠出)による柔軟な運用。
  - (5) コミッティーの活用による運用。
-



## コンゴ民、キンシャサ郊外における学校建設



現地校の例 (上、右、下)



ユニセフが、現地仕様で建設した学校



### 3. 事業の仕組み

---

#### (1) 調査

JICAによる概略調査を実施し(本邦コンサル)、事業規模と分野の組み合わせの適正さ、先方計画に基づく青写真の策定、実施体制等の作成を行うとともに概略設計報告書(含む概略積算額)を作成する。

#### (2) 審査・決定プロセス

要望調査、JICAによる概略設計調査を踏まえて、外務本省において実施の可否を検討、政府としての決定(閣議)を行う。その後E/N締結。

#### (3) 決定後の案件実施の仕組み

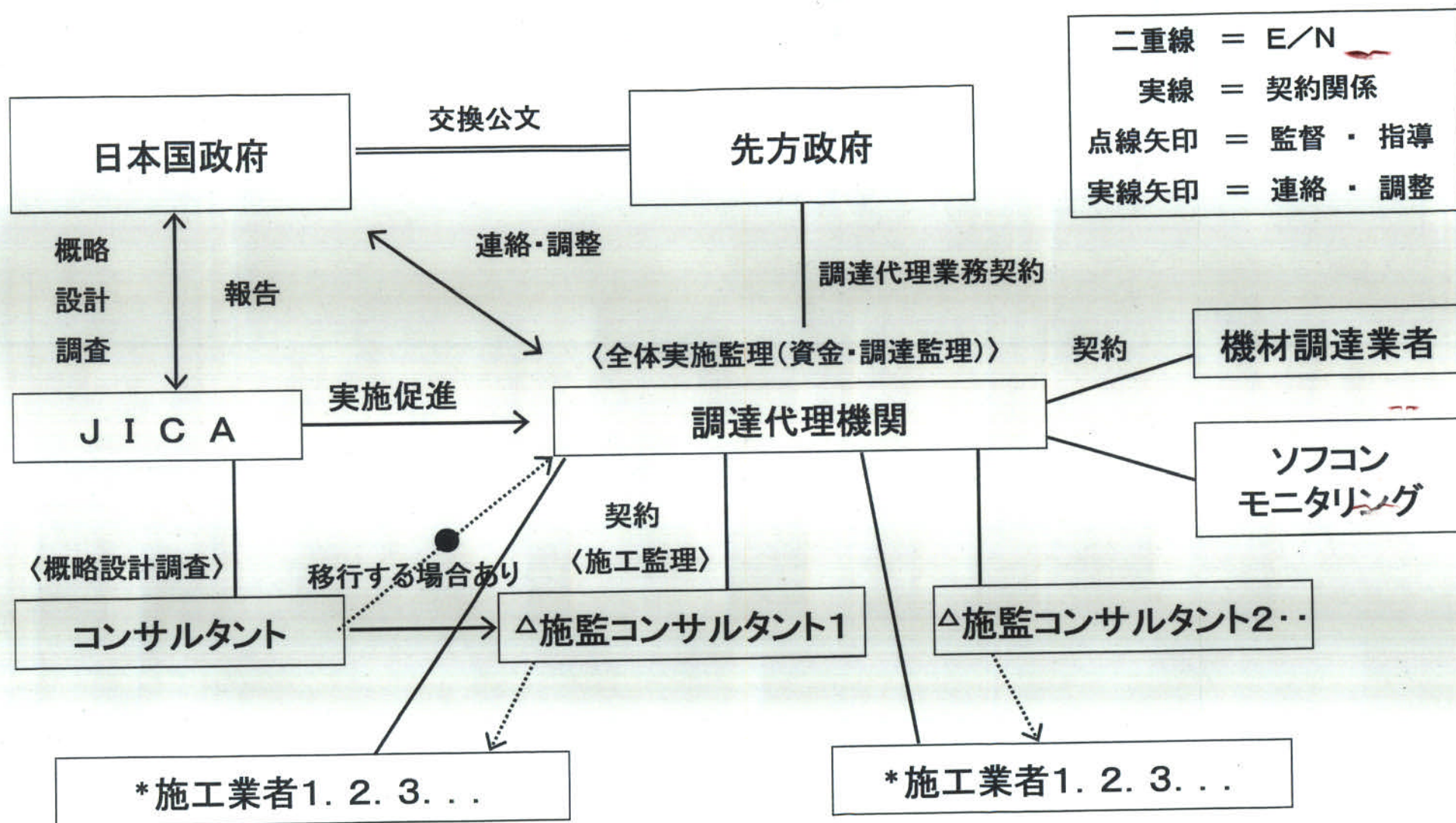
E/N締結後に、相手国若しくは国際機関の口座への資金の一括拠出(デイスバース)を行う。調達代理機関(JICS)が施工業者、コンサルタント等と契約し、資金管理業務等を実施する。

事業について密接に協議する場として、「政府間協議会」(大使館、被援助国政府、JICA事務所、調達代理事務所等からなる委員会)を設置、事業全体の進捗を確認し、問題点等を協議する。

---



## 実施体制(二国間型)



\* 施工業者は日本法人及び国民に限定されない。大半の場合現地業者を想定しているが、周辺国等の業者を活用する場合もあり得る。

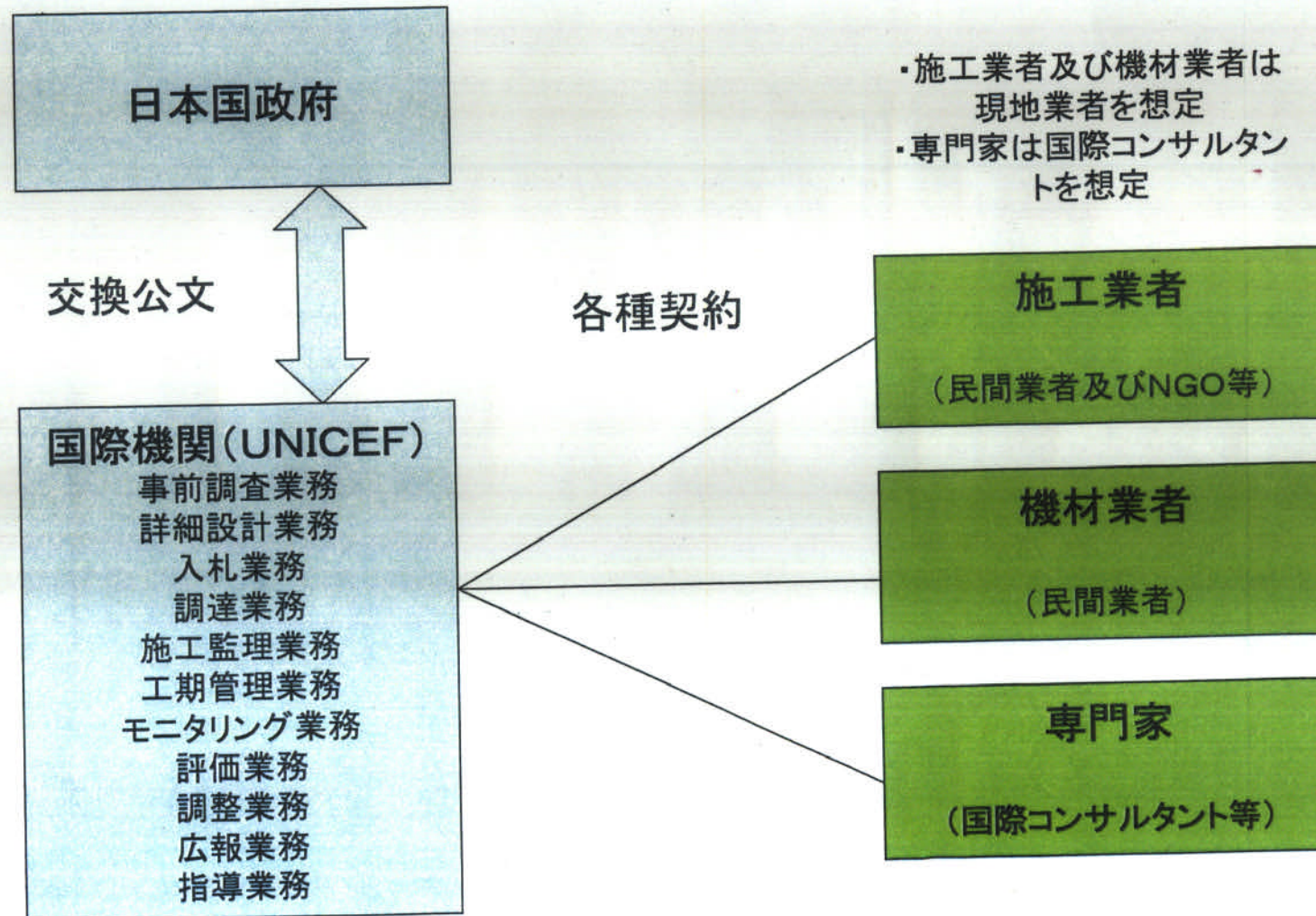
△ 施工監理コンサルタントは日本法人及び国民に限定されない。

コスト削減の観点からも施工監理コンサルタントが複数の分野の監理を兼ねることが出来ればより望ましい。

●JICAは、概略設計調査を踏まえ、調達代理機関に対して、施工監理コンサルタント若しくは技術者の雇用を推薦することができる。



## 実施体制(国際機関型)





## 4. 実例1(セネガル)

---

(1) 案件名 : 小中学校教室建設計画

(2) 金額 : 9.96億円

(3) 工期 : 28カ月

(4) 案件概要:

(施設) カオラック州、ルーガ州、ファティック州、ティエス州及びダカール州の68の小中学校において、314教室、56校長室(倉庫付)及び288便房の建設

(機材) 教室家具の整備(机、椅子、収納棚等)

(ソフコン) 学校運営維持管理・衛生環境改善に関する技術指導

(5) 進捗状況:

平成17年	8月	予備調査
平成18年	6月	概略設計調査
	8月	概略設計概要説明調査
	10月	閣議決定
	12月	5日 E/N署名
		18日 エージェント契約

---



## 4. 実例2(ニジェール)

---

(1) 案件名 : マラディ州及びザンデール州小学校教室建設計画

(2) 金額 : 10.18億円

(3) 工期 : 31カ月

(4) 案件概要:

(施設) マラディ州及びザンデール州の79の小学校において、284教室及び277便房の建設

(機材) 教室家具の整備(机、椅子、収納棚等)

(ソフコン) マラディ州における学校施設の維持管理に係わる技術指導

(5) 進捗状況:

平成17年 7月～ 8月 予備調査

平成18年 6月～ 7月 概略設計調査

10月 概略設計概要説明調査

12月 閣議決定

平成19年 2月 1日 E/N署名

---



## 4. 実例3(マダガスカル)

---

(1) 案件名 : アンツィラナナ州及びトリアラ州小学校教室建設計画

(2) 金額 : 10.32億円

(3) 工期 : 37カ月

(4) 案件概要:

(施設)・上記2州の64の小学校での、200教室、32校長室(倉庫付)及び192便房の建設  
・給水施設を有しないトリアラ州5校及びアンツィラナナ州21校での、給水施設の建設

(機材)教室家具の整備(机、椅子、収納棚等)

(ソフコン)学校運営維持管理・衛生環境改善に関する技術指導

(5) 進捗状況:

平成17年11月～12月 予備調査

平成18年 8月～ 9月 概略設計調査

平成19年 1月 概略設計概要説明調査

2月 閣議決定

3月 5日 E/N署名(予定)

---



## 4. 実例4(コンゴ民:UNICEF経由)

---

(1) 案件名 :コミュニティ参加による子供に優しい環境支援計画

(2) 金額 :7.86億円

(3) 工期 :24カ月

(4) 案件概要:

(施設)

・キンシャサ及びバ・コンゴ州の44の小学校において、513教室、44校長室、104給水ポイント及び104便房の建設

・キンシャサ及びバ・コンゴ州において幼児教育センター12カ所の建設及び改修

(機材)教室家具の整備(机、椅子等)

(5) 進捗状況:

平成18年12月

外務省担当者による現地視察及び協議

平成19年 3月

閣議決定(予定)

(6) 「人間の安全保障基金」を利用してのソフト面支援を検討中

---



## 5. 今後の課題

---

- (1) 給水・道路等のコンポーネント案件、複数コンポーネント案件を発掘
  - (2) ソフトコンポーネントを積極活用
  - (3) 他スキームとの有機的連携を確保(技協、人間の安全保障基金等との連携)
  - (4) コミュニティのイニシアティヴを尊重しつつコミュニティ能力強化を図る
  - (5) ローカルリソース(施工業者、コンサル)を活用しつつ、一定品質を確保
  - (6) 顔の見える援助(我が国NGOや企業との連携)
  - (7) 「点検と改善Ⅱ」の着実な実施
    - (a) 学校案件については、30%以上のコスト削減の達成。(アフリカ→世界)
    - (b) 19年度は10件以上の案件形成。
-